

高円宮殿下メモリアル

第 18 回日本マスターズオーケストラキャンプ (MOC18)

<N響メンバーとともに～パートⅢ オール・モーツァルト・プログラム>



キャンプ最終日に練習の成果を「初春コンサート」と銘打ち披露
2017年1月9日

募集要項

日本マスターズオーケストラキャンプ (MOC) は、(公社) 日本アマチュアオーケストラ連盟 (JAO) の主たる活動である「全国アマチュアオーケストラフェスティバル」「トヨタ青少年オーケストラキャンプ」に次ぐ第三の柱として、当時の JAO 理事長故森下元康氏の提唱により 2000 年に発足しました。

当初はおもにシニア層の弦楽器奏者を対象としていましたが、第 12 回から年齢による制限をはずし、より多くのアマチュア弦楽器奏者にアンサンブルを研修する機会を提供し、参加者が自身の所属オーケストラで指導的な役割を果たし、ここで得たノウハウを所属オーケストラに還元することをキャンプの重要な役割といたしました。

18 回目となる今回は、過去 2 回のキャンプにてご指導をいただいた際、熱意溢れるご指導により参加者が大きな実りを頂戴した NHK 交響楽団の森田昌弘氏、御法川雄矢氏、藤森亮一氏を講師にお迎えします。

課題曲はモーツァルトの作品から、「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」「ヴァイオリン協奏曲第 5 番」「交響曲第 29 番」の 3 曲を選びました。

今年も年始の三連休に開催します。キャンプと一緒に新春を寿ぐ古都京都をお楽しみください。

「高円宮殿下メモリアル」について

JAO 総裁の故高円宮殿下は、MOC の活動に格別のご関心を示され、第 2 回 (2001 年) のキャンプにご来臨くださいました際には、MOC を参加者とともに楽しみました。

ご自身がチェロ奏者でもあり、MOC の前途に大きな期待を抱かれていた殿下のご遺志を尊重し、第 4 回より MOC の名称に「高円宮殿下メモリアル」を冠しています。

主催：公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟 (JAO)
協賛：ガステックサービス株式会社

《 森田昌弘（ヴァイオリン・総括） Morita Masahiro 》



北海道出身。4歳よりヴァイオリンを始める。桐朋学園大学在学中より在京オーケストラのゲストアシスタントコンサートマスターなどを務め、ストリングアンサンブルVEGAのメンバーとしても活動を行った。同大学卒業後、1995年NHK交響楽団に入団、現在次席奏者を務める。これまでに山下浩司、辰巳明子の各氏に師事。秋吉台マスタークラス、オホーツク音楽祭 IN 紋別、軽井沢国際音楽祭等に出演し国内外の著名なアーティストと共演する。また、NHK交響楽団メンバーによる室内合奏団直方公演や下関公演、豊橋交響楽団、杉並弦楽合奏団、新日本交響楽団とも協奏曲を共演し、いずれも好評を得たほか、トヨタ青少年オーケストラキャンプ（TYOC）や桐朋学園オーケストラアカデミー招聘講師も務める。

《 御法川雄矢（ヴィオラ・指揮） Minorikawa Yuya 》



10歳よりヴァイオリンを始め、その後、ヴィオラに転向。桐朋女子高等学校音楽科を経て2003年桐朋学園大学音楽部を卒業。2001年ピアニストの村上弦一郎氏と共にGEN室内管弦楽団を立ち上げる。2003年桐朋学園大学音楽部を卒業。5月大阪国際室内楽コンクールにて弦楽四重奏の部セミファイナルに出場。2009年2月NHK交響楽団入団。2011年8月エレメンツ・クアルテット台湾公演を行い地元メディアにも大きく取り上げられた。これまでにヴァイオリンを市川映子、ヴィオラを故 江戸純子、指揮を故 堤俊作、室内楽を故 青木十良、各氏に師事。現在、NHK交響楽団ヴィオラ奏者、小松亮太オルケスタ・ティピカ、エレメンツ・クアルテット、昴21弦楽四重奏のメンバーとしての活動の他、指揮者としても活躍している。

《 藤森亮一（チェロ） Fujimori Ryoichi 》



1963年京都に生まれる。11歳よりチェロを学び始める。京都市立堀川高等学校音楽科（現、京都市立京都堀川音楽高等学校）を経て、1982年東京音楽大学に特待生で入学。同年第29回文化放送音楽賞を受賞。1983年第52回日本音楽コンクール・チェロ部門第1位。1986年第21回東京国際音楽コンクール弦楽四重奏部門・斎藤秀雄賞受賞。1987年、NHK交響楽団に入団。

1990年ドイツに留学し、ミュンヘンでさらに研鑽を重ねる。これまでに、故・徳永兼一郎、上村昇、河野文昭、ワルター・ノータスの各氏に師事。1998年モルゴア・クアルテットとして村松賞を受賞。1999年東京オペラシティにおいて無伴奏チェロ曲によるリサイタルを行う。また同年カザルスホールにて「P・カザルスに捧げるチェロ連続演奏会」に出演し、いずれも絶賛を浴びる。2000年より、チェロ四重奏「ラ・クアルティエーナ」を結成。演奏会のチケットが入手困難なほど、好評を博している。2007

年度第26回京都府文化賞功労賞を受賞。2010年度モルゴア・クアルテットとしてアリオン賞を受賞。現在、NHK交響楽団首席奏者を務めるかたわら、ソロやアンサンブルの領域でも意欲的な演奏を繰り広げ、国内外のアーティスト等と活発に共演。レコーディング活動においては、ソロはもちろん、さまざまなアーティストから絶大な信頼を得ている。

現在、東邦音楽大学特任教授、国立音楽大学客員教授を務め後進の指導にあたっている。

♪ 参加資格と定員

1. JAO 加盟団体の団員でこの事業の趣旨に賛同する方。
2. プロ・アマを問わず、この事業の趣旨に賛同する方。
3. 定員は弦5部合計80名、オーボエ2名、ホルン2名。
応募者多数の場合はお断りする場合があります。
参加可否の決定に関しての問い合わせにはお答えできません。

♪ 研修曲目（予定）

- (1) モーツァルト：「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」ト長調 KV525
- (2) モーツァルト：「ヴァイオリン協奏曲第5番」イ長調 KV219
- (3) モーツァルト：「交響曲第29番」イ長調 KV201 (186a)

開催日程 平成30年1月6日（土）～8日（月・祝）

1月6日（土）	12:00	受付開始
	13:00	開会式、オリエンテーション
	13:30 ～ 19:00	練習
1月7日（日）	9:00	開場
	9:30 ～ 18:30	練習（ランチ・休憩あり）
	18:40	レセプション
1月8日（月）	9:00	開場
	9:30 ～ 12:00	練習（練習後ランチ）
	13:30	「初春コンサート」開演 終演後終了式
	16:30	解散

♪ 会場

京都府立府民ホール・アルティ

〒602-0912 京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町 590-1 電話：075-441-1414

※会場には駐車場がありません。公共交通機関をご利用ください。

♪ 参加費

- ・弦楽器 JAO 会員 22,000 円、一般公募 32,000 円 ・管楽器 8,000 円
- ・参加費には2日目と3日目の昼食代（弁当）2日目のレセプション代および集合写真代を含みます。
- ・平成29年12月20日以降のキャンセルについては返金できません。
- ・DVDは別途業者が販売。代金3,000円（予定）。

♪ 参加申し込み

別紙の参加申込書を使用して、個人単位でお申し込みください。

送付先・お問い合わせ

〒441-8028 愛知県豊橋市立花町 46 光陽ビル 3F JAO 内
「第18回日本マスターズオーケストラキャンプ」係
電話：(0532) 33-6885 FAX：(0532) 33-6875
Eメール：info@jao.or.jp

必ず「参加申込書」にご記入の上、メール、FAX、郵送でお送りください。

締め切り 2017年8月31日（当日消印有効）

※参加の可否については、10月初旬までにお知らせし、パート譜をお送りします。

♪ 大型楽器

- ・コントラバスは原則ご持参ください。

♪ おことわり

- ・JAO 行事はマスコミ等で報道される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・期間中の楽器への事故の補償のために、各自で楽器保険等への加入をお勧めします。
（主催者の過失と認められない事故について主催者は責任を負いません）

以上